

# IV 高齢者・障害者などが安心して生活できる環境づくり

# 1 高齢福祉 (1)高齢福祉の課題

- 健康づくり・病気や介護の予防
- 身近なところでの相談支援
- 計画的な施設整備・入所施設等職員の確保
- 我が事・丸ごとの推進
- 地域公共交通の充実



## (2)健康づくり、介護予防等

### ① 健康づくりの取組

- ・健康200日チャレンジ (参加者) R1: 800人、H30: 610人
- ・グラウンドゴルフ いきが活動ポイント事業
- ・老人クラブ活動 (スポーツ大会、高齢者芸能発表大会等) 等

### ② 介護予防の取組

#### 通いの場づくり

- ① 守山百歳体操 62グループ
- ② 守山健康のび体操 14グループ



### ③ 認知症対策の取組

#### ア 認知症サポーター養成講座

小中学校、事業所、自治会などで開催

平成18年から388回 (R1.12末)

受講者16,000人達成

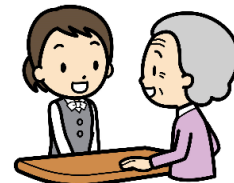
#### イ 行方不明高齢者等SOSネットワーク

- ・協力事業所 61事業所 (R2.1末)
- ・事前登録の開始 (11月～) 登録者30人 (R2.1末)



# (3)地域包括支援センターの機能強化

～圏域地域包括支援センターの整備、体制の充実～



## 北部地区

(河西・速野・中洲)  
北公民館内  
平成28年10月開所



連 携

## 南部地区

(守山・小津)  
エルセンター敷地内  
平成31年4月開所



相談



連 携

(困難事例・緊急案件)

## 中部地区

(吉身・玉津)  
令和3年度からの開設に向けて準備を進めています。  
すこやかセンター内に整備

## 基幹型 地域包括支援センター

(吉身・玉津)

すこやかセンター内

センター間の総合調整  
後方支援、指導監督等



担当：地域包括支援センター

## (4)第7期計画(守山いきいきプラン2018)期間中の取組

### ①地域密着型特別養護老人ホーム

#### 北部（河西・速野・中洲）

開設地：荒見町

入所定員：29人

開設時期：令和2年3月予定



特別養護老人ホーム ひいらぎ

### ②認知症高齢者グループホーム

#### 北部（河西・速野・中洲）

開設地：洲本町

入所定員：18人

開設時期：令和2年4月予定



(仮称)グループホーム安寧【建築中】

### ③地域密着型特別養護老人ホーム

#### 南部（守山・小津）

開設地：横江町

入所定員：29人

開設時期：令和3年4月予定

### ④小規模多機能型居宅介護(公募中)

#### 守山市内（小津・玉津・速野）

事業者公募中

利用定員：29人

開設時期：令和3年4月予定

担当：長寿政策課/介護保険課/地域包括支援センター

## 2 障害福祉 (1)障害福祉サービス事業所の整備

担当：障害福祉課

### ① 市内の障害者福祉施設の現状

(令和2年1月31日時点 聴き取り値)

|     | 施設種別                | 市内施設件数 (件) |     |     | A. 定員数<br>(人) | B. 利用者数<br>(人) | (A - B) |
|-----|---------------------|------------|-----|-----|---------------|----------------|---------|
|     |                     | H29        | H30 | R01 |               |                |         |
| 通所型 | 生活介護                | 7          | 8   | 8   | 187           | 229            | △42     |
|     | 就労支援A・B             | 10         | 11  | 11  | 206           | 189            | 17      |
| 居住型 | 施設入所支援              | 2          | 2   | 2   | 90            | 90             | 0       |
|     | グループホーム<br>(共同生活援助) | 8          | 8   | 9   | 69            | 69             | 0       |

※グループホームについては、令和元年6月に「こだま」が開所

○通所型の施設は増加傾向にありますが、生活介護施設は定員超過の状況。  
○居住型の施設は増加なく満床の状況。  
⇒ **施設の不足**

○居住系施設においては、夜間、休日ならびに少人数での対応など、職員の負担が増大している状況。  
⇒ **職員の確保・定着**

#### 【参考】 医療的ケア児通学保護者支援事業（県の委託事業）

医療的ケアを必要とする県立特別支援学校児童生徒の学校までの移動および介助する看護師に要する経費を負担し、保護者負担の軽減を図るため、令和2年度より開始される事業です。

# (1)障害福祉サービス事業所の整備(続き)

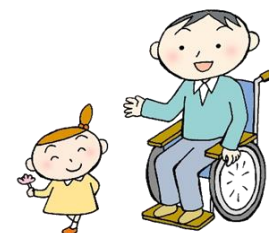
担当：障害福祉課

## ② 主な施設の整備

### ① 重症心身障害者通所施設「かなえ」 草津市新堂町134-1



令和2年4月20日 開所予定  
(社会福祉法人びわこ学園)



○湖南福祉圏域の医療的ケア等の特別な支援を必要とする重症心身障害者を対象とし、定員45名、生活介護サービス事業を運営。

※ 「たいよう」（守山市石田町地先）を含めた来年度通所予定者43名については、新施設運用開始までは「たいよう」へ通所され、開所後、23名が「かなえ」へ、20名が「たいよう」へ通所される予定です。

### ② 地域支援拠点施設「ひとむれ」 守山市川田町2216-3（滋賀県理容美容学園跡）

令和元年6月9日開所（社会福祉法人湖南会）

○1階 湖南福祉圏域による委託事業

- ・24時間対応型利用制度支援事業【湖南4市】
- ・地域活動支援センターⅡ型事業【野洲・守山】

○2階 グループホーム「こだま」（定員12名：利用者12名）

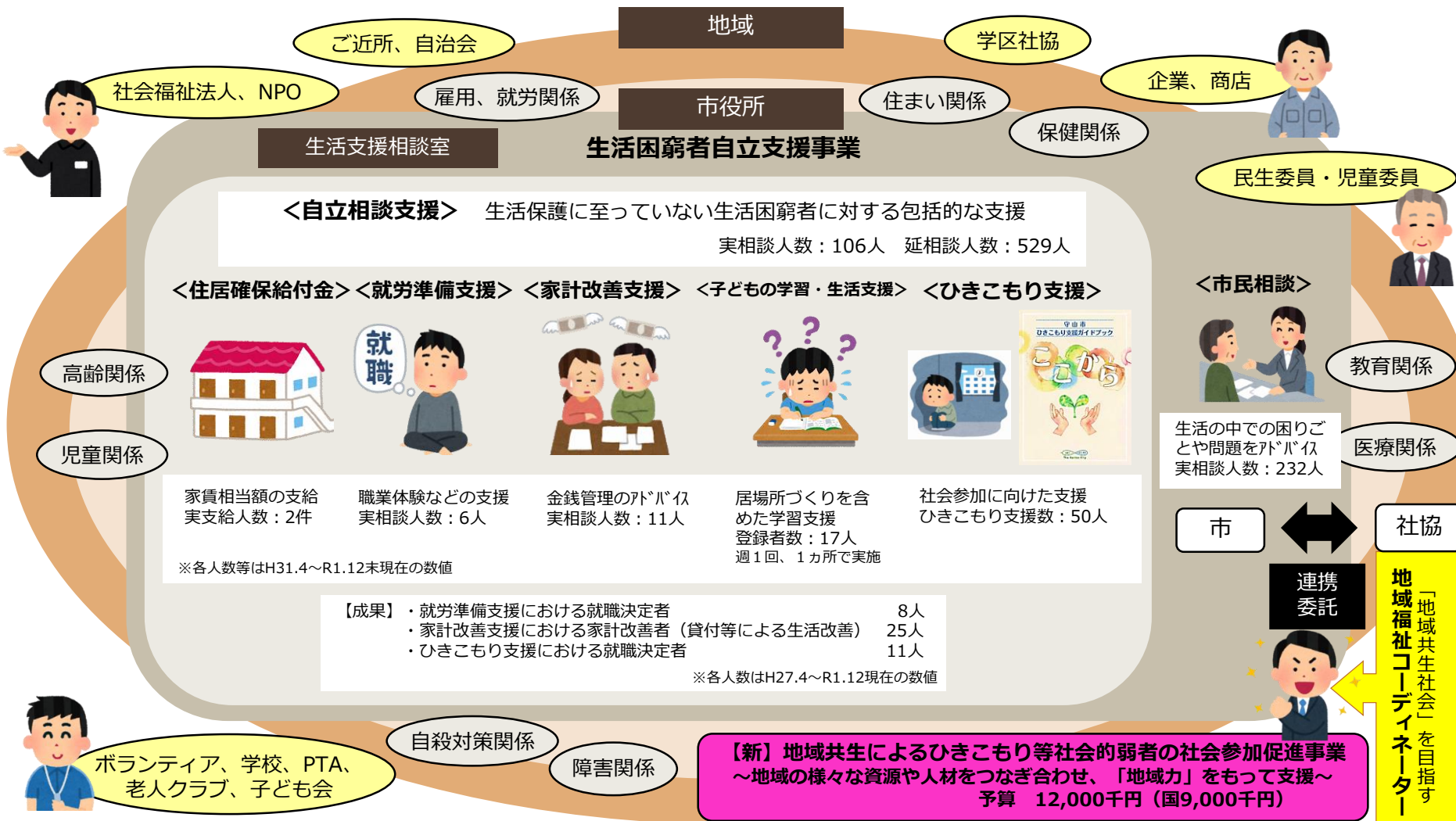


# 3 生活支援相談 (1)生活困窮者等支援体制

## 地域共生社会の実現と社会的弱者等の社会参加の促進

担当：生活支援相談室

生活保護に至っていない生活困窮者に対するセーフティネットとして、生活困窮者の多様で複合的な課題に対し、各事業や施策を組み合わせ、本人の状態に応じた自立を支援する。また、住民に身近な圏域において、地域の様々な関係者が連携して包括的な地域ネットワークを構築し、「支える・支えられる」という一方的な関係ではなく、相互に支えあう「地域共生社会」を目指す。



会議の内容を報告することで連携

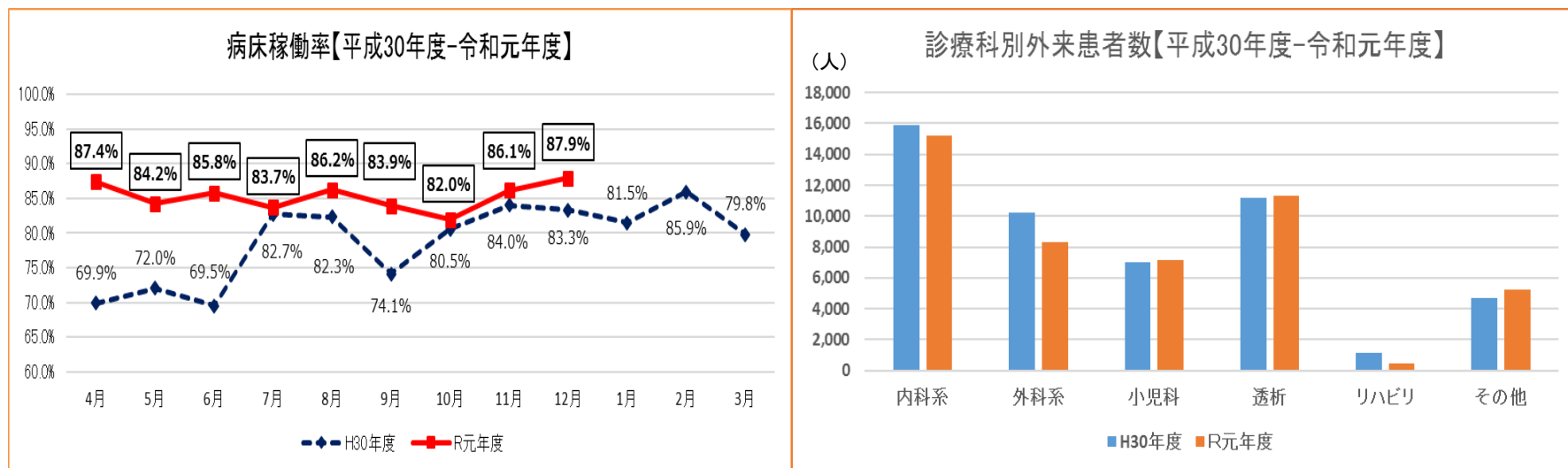
## 4 済生会守山市民病院

### (1) 診療体制の充実に向けた取組

| 施 策            | 内 容                                                                     |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 病病・病診連携の推進     | 医師会や医療機関との連携強化により紹介患者数の増加                                               |
| リハビリテーション機能の充実 | 新館供用開始に向け、関係大学との連携強化<br>専門医2名の確保<br>リハビリセラピストの増員(R2.4 47名配置予定(前年度+17名)) |
| 救急医療体制の強化      | 済生会滋賀県病院のバックアップのもと、救急医療体制の強化                                            |
| 病床の再編          | 地域医療構想を踏まえた回復期リハビリ病床の増床(0床→55床)                                         |
| 診療機能の充実        | 午後透析開始、乳がん検診や糖尿病外来の午後専門診療開始                                             |

### (2) 病床稼働率・外来患者数について

R1.12末現在



## 4 済生会守山市民病院

(3)令和2年4月1日 新館供用開始について

★令和2年4月1日に新館（リハビリテーションセンター／健診センター）供用開始



＜建物概要＞

1階 健診センター

2階 回復期リハビリ病棟

3階 リハビリセンター

※延床面積 約3,700㎡

＜駐車場整備後のイメージ図＞



リハビリ専門医（2名）、リハビリセラピスト（47名）を配置し、県内最大規模のリハビリテーションセンターが令和2年4月1日にオープン。  
湖南圏域で不足する回復期機能を担い、地域医療の充実に貢献します。

＜今後のスケジュール＞

令和2年3月28日（土）：新館内覧会

令和2年度～令和3年度：本館一部改修工事・別館解体工事・駐車場整備工事予定

# 1 既存バス路線の充実に向けた取り組み

本市では、公共交通の基幹であるバス路線の維持・充実のために以下の取り組みを行っています。

## 1 高齢者おでかけパス

65歳以上の方を対象に市内を走る路線バスが月2,000円で乗り放題

※6ヵ月券をこの4月から10,000円に値下げしました。

販売実績：【令和元年12月まで】920件、1ヵ月平均利用者数：102人

## 2 スーパー学割バス定期券

市内在住の学生を対象に近距離5,000円/月と遠距離8,000円/月の価格設定

販売実績：【令和元年12月まで】1,876件、1ヵ月平均利用者数：208人

### <参考>スーパー学割定期券利用者アンケート結果（令和2年1月実施）

#### ①バス利用を評価する意見

- ・自転車通学より楽。勉強したり眠れたりできる。
- ・送迎の必要がなくなり、親に頼らずに済む。
- ・雨の日に濡れずに通学できるので助かる。

#### ②バスの移動で困ったこと

- ・本数が少ない。
- ・終バスが早い。特に土日。
- ・バスが遅れることが多く、定刻通り来ない。

#### ③スーパー学割定期券の魅力

- ・安く済む、通学に路線バスを使おう！となる。
- ・安い、守山に住んで良かったと思う。
- ・親の負担を少なくしているのでありがたい。

#### ④充実して欲しい設備

- ・バス停に大きな屋根とベンチ
- ・Wi-Fi
- ・どこにバスがいるのか分かる電子掲示板。

## (2) もーりーカー

※赤字は令和元年度に充実

今年度は乗降場所や特定目的地の増設、当日予約を可能とするなど、利便性向上を図りました。また、利用料金を引き下げました。

### 【内容】

- ・運行日、運行時間：年末年始を除き 午前8時～午後5時まで(概ね1時間毎の運行)
- ・利用料金：1人1乗車 300円(令和元年11月に400円から引き下げ)
- ・登録要件：満75歳以上、満65歳以上で運転免許証(自家用車)を所持していない、障害がある、妊娠している、市役所・図書館・環境センターのみ利用される方は全世代が利用可等
- ・乗降場所：342箇所
- ・特定目的地：33箇所  
(令和元年度に諏訪家屋敷、環境センター、佐川美術館、立入河川公園等追加)
- ・予約方法：前日予約 利用日の2週間前から前日まで。  
当日予約 10時以降は1時間前までの予約で利用可。

### 【実績】

- ・登録者数：1,527人(令和元年12月末現在)
- ・利用件数：5,658件(令和元年4月～12月)



### (3) 今後に向けた取組

今後、地域公共交通の充実に向け、以下の基本方針に沿い、具体的な取り組みをおこないます。

- 1 既存公共交通を活かした利便性の向上
- 2 高齢者や子どもをはじめ誰もが安心して利用できる環境づくり
- 3 各種媒体を活用した行動の転換を促す積極的な情報提供
- 4 地域発ボトムアップ型の持続可能な地域公共交通づくり  
(共助・自助による取組の推進)

#### 【具体的な取組】

##### ○バス

- ・市民ニーズを踏まえた利便性の高いダイヤ設定や運賃サービス、路線再編も含め必要性の高い目的地への運行等の検討
- ・B T S（自転車駐輪場）の整備、バス待ち環境の改善 など

##### ○「モーリーカー」

- ・特定目的地、乗降場所の増設など、利用者の声によるさらなる利便性向上

##### ○環境学習都市記念公園へのアクセスの確保

- ・バス利用者はプールの利用料の低減等の検討  
(「モーリーカー」によるアクセス確保済み)

##### ○その他

- ・積極的な情報提供の実施（SNS、アプリの活用など）
- ・モビリティ・マネジメントの実施 など